さとうきび通信

2025年：夏号

発行日：2025年8月30日

生　和　糖　業　株　式　会　社
発　行　・　編　集　：　原　料　課

	7　月				8　月			
	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)
本年	31.8	25.8	28.4	394.5	32.1	26.6	29.0	129.0
平年	31.5	26.3	28.6	129.3	32.2	26.3	28.9	201.2
平年との差	＋0.3	－0.5	－0.2	＋265.2	－0.1	＋0.3	＋0.1	－72.2

糖業振興会総会

去る 7 月 29 日(火)、令和 7 年度喜界町糖業振興会総会が休養村管理センターにて関係機関を含め、約 180 名を参集し開催されました。

今年の抽選会は、景品もガラッと変えてバッテリーや肥料と豪華で品数も豊富で大いに盛り上がりましたよ～😀🎶

生和糖業賞

生和糖業賞として令和 6 / 7 年度産さとうきび出荷において表彰された生産者は以下の通りです。

予約達成賞

予約面積と実績面積の変動が10a以内、搬入量100t以上で、予約達成率が100%に近かった生産者

1位	湾	中山　勝
2位	志戸桶東	大喜　智夫
3位	上嘉鉄中	藤村　剛

トラッシュ低減努力賞

収穫作業をすべてハーベスタへ委託し、搬入量100t以上、低トラッシュ率で「その他率」も低かった生産者

1位	赤連	岡本　勝
2位	荒木	福原　安成
3位	前金久	南島　孝徳

受賞者の皆さま
おめでとうございます

◆◆◆　収穫面積・生産量の推移　◆◆◆

作型 / 各年	夏植			秋植			春植			株出			合計		
	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量
	(a)	(kg/10a)	t	(a)	(kg/10a)	t	(a)	(kg/10a)	t	(a)	(kg/10a)	t	(a)	(kg/10a)	t
66期（2024/2025）	12,415	7,161	8,891	9,173	6,076	5,574	11,140	4,032	4,491	102,348	4,661	47,700	135,076	4,935	66,655
前期（2023/2024）	14,465	7,653	11,070	10,139	6,702	6,795	15,589	5,045	7,864	95,789	5,210	49,909	135,982	5,562	75,638
前期との差	-2,050	-492	-2,179	-966	-626	-1,221	-4,449	-1,013	-3,373	6,559	-549	-2,209	-906	-627	-8,983
2022/2023	18,076	7,761	14,029	9,970	6,489	6,470	15,813	5,131	8,113	89,020	5,382	47,912	132,879	5,759	76,524

◆◆◆　さとうきびの買入糖度・買入価格・トラッシュ率・歩留の推移　◆◆◆

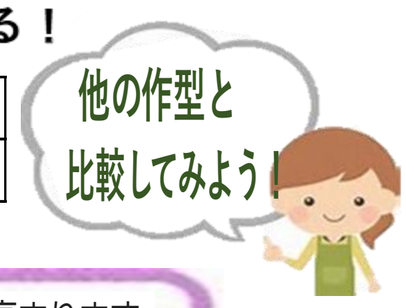
項目 / 各年	買入糖度（%）	糖度帯（%）			平均買入価格（交付金込）	対前年比（%）	トラッシュ率（%）	工場歩留（%）
		基準以下	基準内	基準以上				
66期(2024/2025)	15.66	0.7	8.2	91.1	26,732	95.6	11.10	12.53
前期(2023/2024)	16.22	0.2	2.1	97.7	27,977	108.0	11.65	13.03
2022/2023	15.69	0.6	7.2	92.2	25,893	105.2	10.19	12.70

夏植 秋植 しよう！

① 春植・株出と比較して栽培期間が長く、収量が多い。
② 気温が高い時期に植え付けるので発芽率が良い。
③ 土づくりの期間が他作型より確保出来る！

	夏植	秋植	春植	株出
平均単収	7,364	6,350	4,808	4,990

※過去5ヶ年の平均単収



まずは、「土づくり」をしましょう！

サトウキビは深根作物で、根の伸長、発達は生育収量に大きく影響します。

そのため、**表土の厚さは25～30cm以上**が好ましく、**耕起の深さは30cm以上**が望まれます。

下層に緻密(ちみつ)な土層あるいは**硬盤がある場合は60cm程度の深耕や心土破砕**を行いましょう。

土づくりをすると、保水力・通気性・肥料保持力が高まります。
たい肥や緑肥などの有機質資材を活用して土づくりをしたり、
プラソイラやサブソイラを活用した心土破砕をおこない
さとうきびの生育促進に努めましょう。

硬い土は心土破砕で軟らかく！

プラソイラ、サブソイラ

プ ラ ウ

緑 肥 の 効 果

1. 地力窒素の増加
2. 土壌流出防止
3. 雑草抑制
4. 病害虫の予防
5. 景観向上

優良農家の土づくりのポイント

1. 夏植え前に緑肥を栽培
2. 植付前にプラソイラで心土破砕(十字掛け)
3. 砕土は1回程度(なるべく少なく)

夏植え前の緑肥

そして、「除草」もしっかり！

今回は、**2,4-D** について…

土壌中で比較的速やかに分解されるため環境への負担が少ない。

安全性も高く、多くの作物で登録されていますが**使用方法を誤ると薬害を起こす可能性がある**ので、正しく使用しましょう。

適用雑草名	使用時期	薬量	希釈水量	本剤の使用回数	使用方法	2,4-PAを含む農薬の総使用回数
一年生及び多年生広葉雑草	植付後又は株出管理後30日以降雑草生育期(草丈30cm以下)	300～500g/10a	100～150L/10a	2回以内	雑草茎葉散布又は全面散布	2回以内

使用時期は収穫30日前までとなっていますが、**散布時期が遅れると残留農薬が検出される可能性が高くなります**ので
当社としましては、**収穫90日前まで**の使用をお願いします。

搬入されたきキビから残留農薬が検出されると、**操業停止**の事態を招く事になります。
そうならないように、**散布時期を考えて**くださるようお願いいたします。

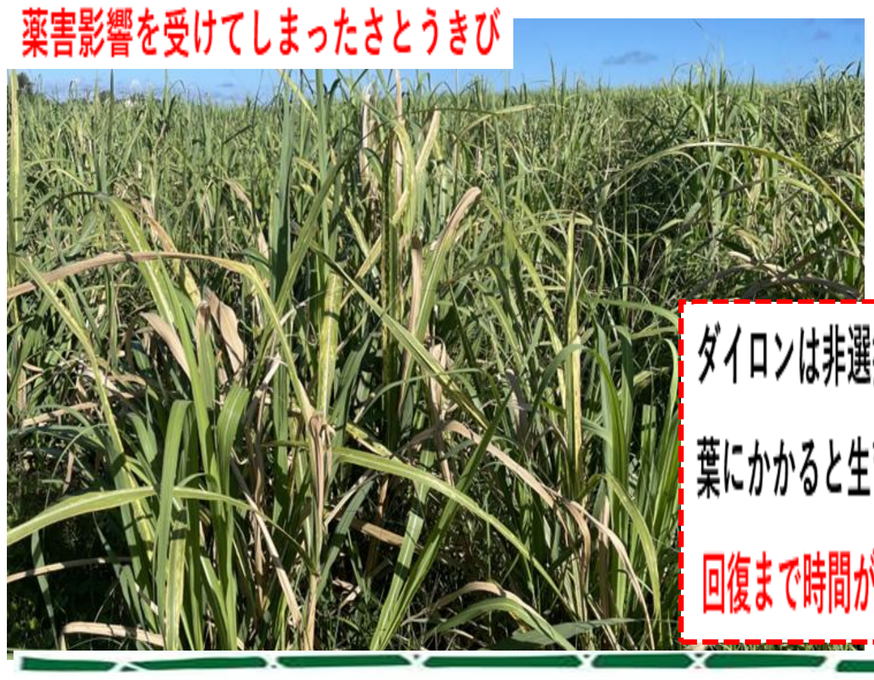
ご注意

ダイロンゾルの使用についての注意点…

ダイロンゾルを散布する際は、**土壌に散布**しましょう！
頭から散布して、葉にかかると**生育に影響が出てしまいます**

※散布の際は、十分に気をつけましょう！

薬害影響を受けてしまったさとうきび



ダイロンは非選択性の土壌処理剤です。
葉にかかると生育に影響を及し
回復まで時間が掛かります

注意事項

非農耕地用除草剤について…

非農耕地用の除草剤は毒性が強く、しばらくの間効果が持続するので何かを植える場合は不都合。

＊ 非農耕地用除草剤は**農薬としての登録を取っていない**ものなので、**農地への使用は禁止**されています。

＊ 農耕地用の除草剤と同成分であるから使用しても問題ないだろう、と誤った判断をしてしてしまう。

＊ **農道や法面であっても、耕作地に隣接している場所**での**使用はひかえた方がよい**

※ ラベルを確認し、**農薬登録がされていない除草剤**の使用はおススメ出来ません

※必ず **農地用の除草剤**を使用してください！

編集後記

第66製糖期の終了から5か月近くが経ち、農家の皆さまは「春植え」「夏植え」に加え、日々の「管理作業」に追われ、大変お忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。
そして、3か月余りで、第67製糖期が始まります。今年は今のところ、台風や天候による大きな被害もなく、さとうきびの生育は順調に思われます。しかし、この先何が起こるかは誰にもわかりません。『備えあれば患いなし』という言葉があるように、不足の事態に備えておくことが大切です。近年、少子高齢化や生産者の減少により、農業を取り巻く環境は厳しさを増しています。さらに、気象災害に見舞われれば、収穫量の減少は即座に収入の減少につながります。
そのような「もしも」の時に備え「さとうきび共済」「収入保険」などの制度への加入を検討されてはいかがでしょうか。これらの保険を活用することで、万が一の不安を取り除き、安心して農業を続けることができるはずです。
皆さまが丹精込めて育てたさとうきびが、無事に収穫期を迎えられることを心より願っております。